

厚生労働科学研究費補助金
(地域医療基盤開発推進研究事業)

病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等の
ために必要となる実施可能な施策に関する研究

平成28年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 今村 知明
(奈良県立医科大学 公衆衛生学講座)

平成29(2017)年3月

本報告書は、「病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」班の平成 28 年度研究成果物である。当研究班は研究課題が多岐にわたるため、参考として、6 つの分担研究班の概要を以下に示す。

1. 医療計画班

(概要) 平成 30 年からの第 7 次医療計画について、5 疾病 5 事業を中心とする施策の PDCA サイクルに資する議論を行い、必要な指標を整理した。

(成果) 都道府県が医療計画を策定し、進捗管理するための資料として公表し、医療計画に関する厚生労働省地域医療計画課長通知で参照先に指定された。

2. 定量分析班

(概要) 平成 28 年度分福岡県の病床機能報告をデータベース化し、自己申告された病床機能と客観的な各種指標との関係を分析し、病床機能選択の定量的な基準を作成するための評価軸を検討した。

(成果) 特に回復期と慢性期について、一定の定量基準を作成できる可能性が示された。

3. 事例統括班

(概要) 各病院団体を通じ、全国の病院から、病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等に関する参考事例を収集した。

(成果) 全国の 75 医療機関より 101 の事例を収集し、整理した。

4. 地域事例班

(概要) 大腿骨頸部骨折患者の病院間の連携パスをもとに、急性期病院から回復期病院への地域連携のあり方を具体的に示した。また、北海道及び石川県の先進事例を視察した。

(成果) 病院間連携パスの具体的なあり方及び視察の成果を整理・公表した。

5. 実地検証班

(概要) 奈良県のレセプトデータを用いて病院機能の分類を検討した。

(成果) 各種指標の活用により、病院機能の一定の見える化が可能であることを示した。

6. 専門医需給班

(概要) 診療領域別・地域別の医療行為需要の推計方法及び医師の流動性を検討した。

(成果) 最適な専門医数を専門医の需要面から推定することは困難であること、医師の地域をまたいだ流動性の考慮が必要であることが明らかとなった。

目 次

[総括研究]

【総括研究報告書】病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究（今村 知明 研究代表者）

A. 研究目的	2
B. 研究方法	2
1. 医療計画班	2
2. 医療構想グループ	2
3. 専門医需給班	2
C. 研究結果	3
1. 医療計画班	3
2. 医療構想グループ	3
3. 専門医需給班	4
D. 考察	4
1. 医療計画班	4
2. 医療構想グループ	4
3. 専門医需給班	5
E. 結論	5
F. 健康危険情報	5
G. 研究発表	5
1. 論文発表	5
2. 学会発表	7
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	10
1. 特許取得	10
2. 実用新案登録	10
3. その他	10

[分担研究]

1 医療計画班

1-1 【医療計画班①】地域医療構想を第七次医療計画に盛り込むに当たって必要な事項（河原 和夫、田辺 正樹、田極 春美、野田 龍也）

A. 研究目的	1-1-1
B. 研究方法	1-1-2
C. 研究結果	1-1-2
D. 考察	1-1-9
E. 結論	1-1-14
F. 健康危険情報	1-1-14
G. 研究発表	1-1-14
1. 論文発表	1-1-14
2. 学会発表	1-1-14
H. 知的財産権の出願・登録状況	1-1-14

1.	特許取得	1-1-14
2.	実用新案登録	1-1-14
3.	その他	1-1-14
1-2	【医療計画班②】疾病・事業ごとの PDCA サイクルの推進、医療機器配置の現状把握（別添）（田辺 正樹）	
A.	研究目的	1-2-1
B.	研究方法	1-2-1
C.	研究結果	1-2-5
D.	考察	1-2-19
E.	結論	1-2-20
F.	健康危険情報	1-2-20
G.	研究発表	1-2-20
1.	論文発表	1-2-20
2.	学会発表	1-2-20
H.	知的財産権の出願・登録状況	1-2-20
1.	特許取得	1-2-20
2.	実用新案登録	1-2-20
3.	その他	1-2-21
2	医療構想グループ	
2-1	【定量分析班】福岡県の病床機能報告データを用いた病床機能選択定量基準作成のための探索的分析（松田 晋哉・藤森 研司・伏見 清秀・石川 ベンジャミン 光一）	
A.	研究目的	2-1-1
B.	研究方法	2-1-1
C.	研究結果	2-1-2
D.	考察	2-1-11
E.	結論	2-1-11
F.	健康危険情報	2-1-11
G.	研究発表	2-1-11
1.	論文発表	2-1-11
2.	学会発表	2-1-11
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-1-11
1.	特許取得	2-1-11
2.	実用新案登録	2-1-11
3.	その他	2-1-11
2-2	【事例統括班】地域医療連携や病床機能区分を推進するための参考事例調査と統括（長谷川 友紀・池田 俊也・小林 美亜・瀬戸 僚馬・野田 龍也）	
A.	研究目的	2-2-1
B.	研究方法	2-2-1
C.	研究結果	2-2-1

1.	調査票の回収状況	2-2-1
2.	回答医療機関と回答事例の病床規模	2-2-3
3.	回答医療機関と回答事例の所在地	2-2-3
4.	取り組みの種類（複数事例、複数回答）	2-2-3
D.	考察	2-2-4
E.	結論	2-2-5
F.	健康危険情報	2-2-5
G.	研究発表	2-2-5
1.	論文発表	2-2-5
2.	学会発表	2-2-6
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-2-6
1.	特許取得	2-2-6
2.	実用新案登録	2-2-6
3.	その他	2-2-6
2-3	【地域事例班①】新しい概念に基づく大腿骨頸部骨折連携クリニカルパスによる急性期病院から回復期病院への地域連携（副島 秀久、町田 二郎）	
A.	研究目的	2-3①-1
B.	研究方法	2-3①-1
C.	研究結果	2-3①-2
D.	考察	2-3①-6
E.	結論	2-3①-9
F.	健康危険情報	2-3①-9
G.	研究発表	2-3①-9
1.	論文発表	2-3①-9
2.	学会発表	2-3①-9
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3①-10
1.	特許取得	2-3①-10
2.	実用新案登録	2-3①-10
3.	その他	2-3①-10
2-3	【地域事例班②】地域事例視察：上川中部医療圏（野田 龍也、町田 宗仁）	
A.	研究目的	2-3②-1
B.	研究方法	2-3②-1
C.	研究結果	2-3②-3
1.	地域医療構想策定をどのように受け止めているか	2-3②-3
2.	「病床数推計値」に関する受け止め	2-3②-3
3.	2次、3次救急診療体制について	2-3②-3
4.	地域包括ケアに関する従前からの議論	2-3②-3
5.	構想会議における議題	2-3②-4
6.	患者の流出入	2-3②-5
7.	地域包括ケア推進に向けた取り組み	2-3②-5

D. 考察	2-3②-5
E. 結論	2-3②-6
F. 健康危険情報	2-3②-6
G. 研究発表	2-3②-6
1. 論文発表	2-3②-6
2. 学会発表	2-3②-6
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3②-6
1. 特許取得	2-3②-6
2. 実用新案登録	2-3②-6
3. その他	2-3②-6
2-3 【地域事例班③】 地域事例視察：石川中央医療圏（野田 龍也、町田 宗仁）	
A. 研究目的	2-3③-1
B. 研究方法	2-3③-1
C. 研究結果	2-3③-3
1. 地域医療構想策定をどのように受け止めているか	2-3③-3
2. 「病床数推計値」に関する受け止め	2-3③-3
3. 2次、3次救急診療体制について	2-3③-3
4. 地域包括ケアに関する従前からの議論	2-3③-3
5. 構想会議における議題	2-3③-3
6. 患者の流出入	2-3③-4
7. 地域包括ケア推進に向けた取り組み	2-3③-4
D. 考察	2-3③-6
E. 結論	2-3③-6
F. 健康危険情報	2-3③-6
G. 研究発表	2-3③-6
1. 論文発表	2-3③-6
2. 学会発表	2-3③-6
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3③-6
1. 特許取得	2-3③-6
2. 実用新案登録	2-3③-6
3. その他	2-3③-6
2-4 【実地検証班】 レセプトデータからみた病院機能の新規指標（野田 龍也・林 修一郎・村上 淳基・今村 知明）	
A. 研究目的	2-4-1
B. 研究方法	2-4-1
C. 研究結果	2-4-2
1. 分析対象病院の概要（2014年度）	2-4-2
2. 入院実患者数の性別・年齢別分析	2-4-4
3. 入院実患者数に占める死亡者	2-4-6
4. 病院別の特定疾患率、診療科別比率	2-4-8

5. 病院別の診療報酬	2-4-10
6. 保険者番号（国保）ごとの分析	2-4-11
D. 考察	2-4-20
E. 結論	2-4-20
F. 健康危険情報	2-4-20
G. 研究発表	2-4-20
1. 論文発表	2-4-20
2. 学会発表	2-4-21
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-4-24
1. 特許取得	2-4-24
2. 実用新案登録	2-4-24
3. その他	2-4-24
3 専門医需給班	
【専門医需給班】専門医の需要の推計方法に関する研究（小池 創一・今村 知明・野田 龍也・渡 三佳・川口 英明）	
A. 研究目的	3-1
B. 研究方法	3-2
C. 研究結果	3-4
D. 考察	3-12
E. 結論	3-13
F. 健康危険情報	3-13
G. 研究発表	3-13
1. 論文発表	3-13
2. 学会発表	3-13
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	3-13
1. 特許取得	3-13
2. 実用新案登録	3-13
3. その他	3-13
4 研究成果の刊行に関する一覧表	4-1